

edited by FUTURE PUBLIC
1303-428*

横浜西口エリマネニュース

(一社) 横浜西口エリアマネジメントの日常の活動をお伝えします！

地域活性化サポーター 「ヨコニシ助けタイ・使いタイ」の発足

地域活性化サポーターとは？

横浜西口エリアマネジメントが運営する、各活動へのボランティアを通してまちづくりに参加する個人、団体または法人のことです。さらに、横浜西口で主体的に活動していきたいと思っている方も同時に募集しています。実際の活動への参画に加えて、サポーター同士の交流会や勉強会などから「地域参加型のエリアマネジメント」の実現を目指しています。

誰がサポーターになれるの？

ヨコニシ助けタイ 『お手伝いを通してまちづくりに参加したい！』人
ヨコニシ使いタイ 『まちのために自分で何かはじめてみたい！』人

どんな役割や活動があるの？

- 1 イベントのボランティア参加** (助)
公共空間でのエリマネ活動や、清掃活動、防犯パトロール、季節のイベントなどの設営や運営補助など、準備や当日のお手伝いとして参加（任意）いただけます。
- 2 主体的な企画・運営** (使)
西口のまちを舞台に、エリマネが管理する公開空地（Niigo ひろばなど）で活動を行ったり、地域拠点（FP）の定期オープン利用をすることができます。
- 3 ヨコニシ会議の開催・参加** (助・使)
年に数回、サポーターの方は全員対象でご参加いただける、「ヨコニシ会議」にご招待します。

地域みんなで バトンを繋ぐ清掃活動

2023/4/19, 2024/3/4
クリーンアップリレー



昨年4月と今年の3月には、街の事業者さん、自治会、商店会、行政の方々など様々な立場の方に参加していただき、4つの区間を1区間30分ずつリレー形式で清掃を行いました。その30分を「トングのバトン」でつなぐ合わせることで美しい街をつくる大きな力となったことを実感したイベントでした。街の清掃の時間を共有しながら参加者同士でコミュニケーションが生まれ、交流の場にもなりました。

水資源の活用事例を学び 西口の魅力を追求する

2023/10/10
河川・水辺ワークショップの開催



神奈川県や横浜市の行政の方々をお招きし、西口の河川の特徴を発表いただきました。さらに、水辺総研の岩本様や運営パートナーのココベリプラスには、他事例を参考にして横浜西口の水資源の可能性を見出した将来の展望や現在西口で取り組んでいる河川活動についてお話しいただき、知識を深め、実際にそれらをマップに落とし込みながらワークショップ形式で議論を重ねました。

Niigo ひろばの清掃を行いました

9月24日（日）に、Niigo ひろば（横浜ビブレ横広場）の清掃を施設テナント企業様や地域活性化サポーターの方と一緒に行いました。広場の床は日頃から鳩のフンやこぼれた食べ物の跡などがこびりついているため、段状のデッキに気持ちよく座っていただけるように、高圧洗浄機やブラシ、ヘラを使って汚れを綺麗にしました。今後も継続的に行なっていく予定です。



第1回ヨコニシ会議を開催しました

地域活性化サポーターの方や地元商店会の方々に参加いただき、第1回ヨコニシ会議を3月8日（金）に開催しました。初回のため自己紹介から始まり、個々で感じる西口の魅力や好きな味などを語り合いながら交流を深めました。普段から西口で活動している方々が集い顔見知りの関係になることで、様々なコラボレーションを生んだり、協力体制の構築につながることを期待しています。



新規サポーター募集！

サポーターになると、事務局から毎月エリマネ活動やボランティア情報のお知らせをお届けします。さらに、学生さまはボランティア活動として「活動証明書」の発行が可能です。企業さまには、HPや広報に社会貢献活動としてのPRを掲載いただくことも可能となりますので、ぜひお申し込みください！

ヨコニシ助けタイ・使いタイの
詳細・申込はこちら



若者の活動を地域に発信！

2023/10/1
ヨコハマ TEENS PARTY 2023



10月1日（日）に横浜周辺の若者が作る文化祭「ヨコハマ TEENS PARTY 2023」を Niigo ひろばと幸川橋（横浜 VIVRE 前）の初めての2会場で開催しました。今年は「ピクニック」をテーマに、開放感のあるステージで出演者がいきいきとパフォーマンスをしており、街行く人は足を止めて音楽に聞き入っていました。また、五段坂には展示作品が並び、個性豊かな作品で彩られました。

私とヨコハマニシグチ

あぞう みずみ
阿蔵 美鈴 さん

北関東・甲信越事業部長



CeeU Yokohama
(シーユーヨコハマ)
場所：南幸2丁目16-1
営業時間：
イオンフードスタイル 7:00~23:00
2F~8F 10:00~21:00
9F 店舗によって異なる

【プロフィール】
入社20年目。北は青森から南は中国四国のエリアまで全国のイオンモールで働かれた経験があり、現在ではCeeU Yokohama の他、横浜市内では横浜ワールドポーターズの運営管理もしています。

『CeeU Yokohama』が横浜西口に建つようになったきっかけを教えてください！

以前は、ダイエー（スーパー）と都市再生機構の住居が建っていました。しかし老朽化が進み、建て替えの話が挙がったことが一番最初のきっかけです。



昔のダイエーの写真

ラ・ポーズ広場の名前の由来は・・・？



店舗前を公開空地として、にぎわいを作れるように広場を計画しました。「ラ・ポーズ広場」は横浜平沼高校の生徒さんにつけていただきました。「ラ・ポーズ」はフランス語で「憩いの場」という意味があります。

「ラ・ポーズ広場」パース

ショッピングモールで銅色のテーマカラーは珍しいですね！

——「CeeU Yokohama」の名称の由来について

権田金属工業（建物設置者）の主要製品である「銅」の元素記号「Cu」と、友達や親しい人への挨拶「See you」（またね）を掛け合わせ、新たな人・モノ・体験との出会いが生まれ、横浜西口エリアに愛着を持ち、それぞれの想いが伝わり、交わる場となることをめざします。

公式HPより転載

この場所は、「権田金属工業株式会社」という銅製品を扱う会社の発祥の地です。店名ロゴも銅色をイメージカラーにしました。実は一橋側から建物に入ると、銅プレートが飾ってあります。「CeeU Yokohama」を象徴するものとして何か作れないかなと思い、こちらのプレートを制作しました。銅はサビが出やすいので、社内でもどうだろうという意見も出ていましたが、歴史を重ねていくと酸化で色が変わってビンテージ風になるのもありだよという意見でまとまり、制作に至りました。まちの歴史が書いてあるプレートも店内にあります。



銅のサインプレート

『CeeU Yokohama』に入っているお店の特徴はなんですか？

横浜駅周辺は本当にたくさんの商業施設があるので、差別化を図るためにも、やはり特徴をつけた方がよいという話が挙がりました。開発のコンセプトに「YOKOHAMA LIFE BASE」を掲げており、毎日の生活をされる方々と横浜を利用するたくさんの方々へ寄り添った「生活密着型」という形でチャレンジをしました。

6階、7階は家電だけではなく、ゲームやおもちゃを強化していただいたり、エディオンには工夫していただいています。9階にはクリニックや近くにお店を構えていた美容室にも入っていただきました。

私たちイオングループでは、「地域」をととても重視していて、「地域と共に」という言葉をよく社内でも使いますが、「お客さま第一」という理念の中で、横浜駅から徒歩3分の場所で、どうしたら地域の皆さんに楽しんでいただけるのかということを考えたときに、一つは地元にとにかく密着することでした。元々あるものと、いかに共存させていくのかがこれから課題ですが、地域の方々とともに楽しく取り組みたいなと思っています。横浜西口エリアマネジメントさんや横浜ビブレとも一緒に取り組んでいきます。

2023年12月15日にグランドオープンを果たした「CeeU Yokohama」。今回は、「CeeU Yokohama」で運営管理をなさっているイオンモール株式会社の北関東・甲信越事業部長 阿蔵美鈴さんにインタビューをしました！

オープン後、お客様からはどんな反響がありましたか？

2019年2月にダイエーが閉店してからずっと工事中だったので、皆さん「いつできるんだろう」という印象があったと思います。当初「イオンモール横浜西口（仮称）」で発表していたので、ここにイオンモールができることを、待ちわびている声が多かったです。横浜のような都市部は、当社として経験が少なく、どういった反響なのかなと心配していました。



CeeU Yokohama 外観パース

個人的な思いとしては、地域の方々と一緒ににぎわいを作るイベントができたらいいなと思っていたので、横浜西口エリアマネジメントさんとの繋がりの中で、横浜平沼高校や、専門学校の方々等、皆さんと一緒に「まちびらきフェス」という形で一つのイベントができたとすることがとてもよかったと思っています。イベントをやってみて、たくさんの方が見に来てくださったり、開店を喜んでいただく方々がとても多かったんです。建物が出来ていく様子を毎月撮影していらっしゃる方もいて、ずっとあった仮囲いが取れた瞬間に、もうそろそろオープンするんだという方や、もうすぐオープンが近づいていることを意識されたという声も聞きました。

今後やっていきたいことはなんですか？

「CeeU Yokohama」のホームページの一番最初の文章は私が作りました。「CeeU Yokohama」の店名で、どうやったら私たちの思いや、地域への思いを伝えられるかなと考えた時に、「CeeU Yokohama」に何かしら言葉をプラスした方がいいだろうなということで、「毎日来て楽しんでいただきたい」「地域と一緒に賑わいを作っていきたい」という思いを書きました。

2030年に当社は「イオンモールは、地域共創業へ」というビジョンを掲げています。例えば、「CeeU Yokohama」は津波避難施設に指定されており、一時避難所としての役割や、いざという時はサイネージが切り替わって防災情報が流れるようになっていきます。

お買い物やお食事を楽しむ場としてだけではなく、非常時には上層階へ逃げただけ、避難することもできます。今後は避難訓練も実施していく予定です。

そのほかにPRしたいことはありますか？



「CATCH & GO」外観



アプリをかざす場面



↑専用アプリのダウンロードはこちら

1階のイオンフードスタイルでは、「CATCH & GO」という精算動作不要のレジなし店舗を路面店では全国で初めて導入しました。

スマートフォンにアプリを入れて、PayPay もしくはクレジットカードを紐付けていただくと、店内で商品を手に持って出ただけでお買い物が済んでしまうという仕組みです。実験からようやく実用化したもので、これも一つのチャレンジになります。最短10秒で買い物ができるため、通勤・通学の途中など少しでも時短したい方に使ってほしいという思いがあり、導入しました。この「CATCH & GO」やエディオンのeスポーツコーナーなど、なかなかショッピングモールでは体験できないことを展開していただいています。

最後に・・・

イオンモールというイメージ的に家族が行く場所というイメージがありますが、今後は若い世代にも利用していただきたいと思っています。まずは来ていただいて、楽しんでいただけるようにこれからも工夫していききたいと思います。